

# 岐阜農林事務所農業普及課の普及活動状況

平成23年7月31日現在

## 今月の重点活動

### ■ えだまめ (岐阜えだまめ収穫体験・ぎふクリーン農業のPR実施)

J A ぎふ・えだまめ部会では、消費者の方々に「岐阜えだまめ」を広く知ってもらうため、7月16日に岐阜市曾我屋の生産ほ場において、収穫体験と試食会を実施した。当日は、約1,000人の来場者があり、多くの家族連れなどで賑わった。農業普及課では、部会活動の支援を行うとともに、併せて、ぎふクリーン農業、防虫ネット栽培等の紹介を行い、岐阜のえだまめをPRした。

(アンケート結果N=140 らぎふクリーン農業認知度 39%)

同日午後からは、えだまめ部会中央研修会が開催され、市場、量販店関係者等との意見交換が行われ、今後の出荷、販売に関する情報交換を行った。



【写真】 消費者収穫体験の様子



【写真】 中央研修会（もぎ取り機見学）の様子

## 主要農作物の生産振興

### ■ 水稲 (特別栽培米生産者指導)

J A ぎふ特別栽培米生産推進協議会は、7月15日に温湯消毒施設を装備しているJ A なのはな（富山市）の育苗センターを視察訪問した。岐阜の特別栽培米でも種子消毒用の農薬を削減する温湯消毒の導入を検討している。農業普及課から今後の特別栽培米の栽培管理ポイントを参加者に説明するとともに温湯消毒の導入に関して支援を行っていく予定。

### ■ キャベツ (加工用キャベツ栽培講習会開催)

全農からの依頼で各務原市で加工用キャベツの取り組みを今年から始めている。営農組合を中心に約80aの栽培を予定しており、6月30日に講習会を開催し肥培管理、病虫害防除について指導した。

定植は8月中旬から9月上旬で、品種は「おきな」「冬藍」「Y R 銀次郎」。

1玉2kg程度を目標とし、単価は43円/kg（税込）

### ■ いちご

#### (若手生産者の新たな動き)

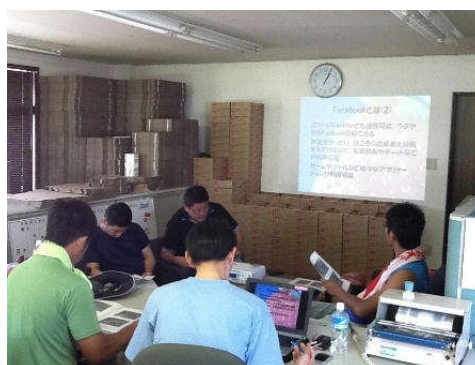
就農5年までの新人を対象に、7月1日に育苗と栽培の基礎に関する新人研修会を農業経営課の支援もと、農業技術センターにおいて開催し、指導を行った。

また、岐阜市いちご部会青年部では、部会活動を盛り上げるため、広報、加工、技術の3部会を作り、新たな取り組みを始めた。広報では、facebookを使ったコミュニケーションを、加工では農商工連携による加工品の開発と地元おこし活動への

参加、技術ではベテラン農家の技術習得と、若手による作業委託制度について計画を検討した。農業普及課は、青年部活動についてアドバイスや支援を継続して行っている。



【写真】新人研修会の様子



【写真】岐阜市いちご部会青年部活動

## ■ かき **大玉生産に向け摘果推進!**

かきの生育は春先の低温と日照不足により平年より1週間程度遅れており、過去10年で最も小玉の状況で推移している。また、開花期の天候不順等により生理落果も多く、園地や品種により着果数に差がある。各産地において摘果の推進や夏場の管理について研修会を開催し、大玉生産に向けて取り組みを進めている。

## 担い手の育成・確保

### ■ 女性農業経営アドバイザー **(広報担当「機関誌GLAMA」発行準備)**

岐阜ブロックでは5年に1度の「機関誌」編集を担当。7月21日に第4回目の広報担当会議を開き、予定通り8月1日発行の見込み。農業普及課もこの活動の支援を行った。

### ■ 集落営農組織・営農組合 **(能郷白山の郷営農システム研究委員会の設立)**

本年度、集落営農担い手発掘サポート事業により本巣市根尾能郷地区がモデル地区として取り組んでいる。6月30日に能郷地区の今後を検討するため地元農業者・自治会を含む関係者で研究委員会を設立した。今後、研究委員会で能郷地区の獣害対策や担い手対策など地域の課題について検討・支援を行う。

【写真】  
能郷営農システム研究委員会の様子



## 地域の動き等

### ■ 各務原市 **(各務原市水田防除連絡協議会の設立)**

7月7日に各務原市全体を統括する各務原市地域防除連絡協議会が設立された。今年度の各地域の共同防除計画の策定を支援するとともに、共同防除の留意点について指導した。

### ■ 本巣地域 **(本巣地域水田農業担い手連絡協議会総会)**

7月8日に本巣地域水田農業担い手連絡協議会通常総会が開催された。協議会では、水稻鉄湛水直播栽培など新技术に取り組んでおり、農業普及課で支援を行っている。